

ワークショップで考えた「今後の対話のしくみ」案

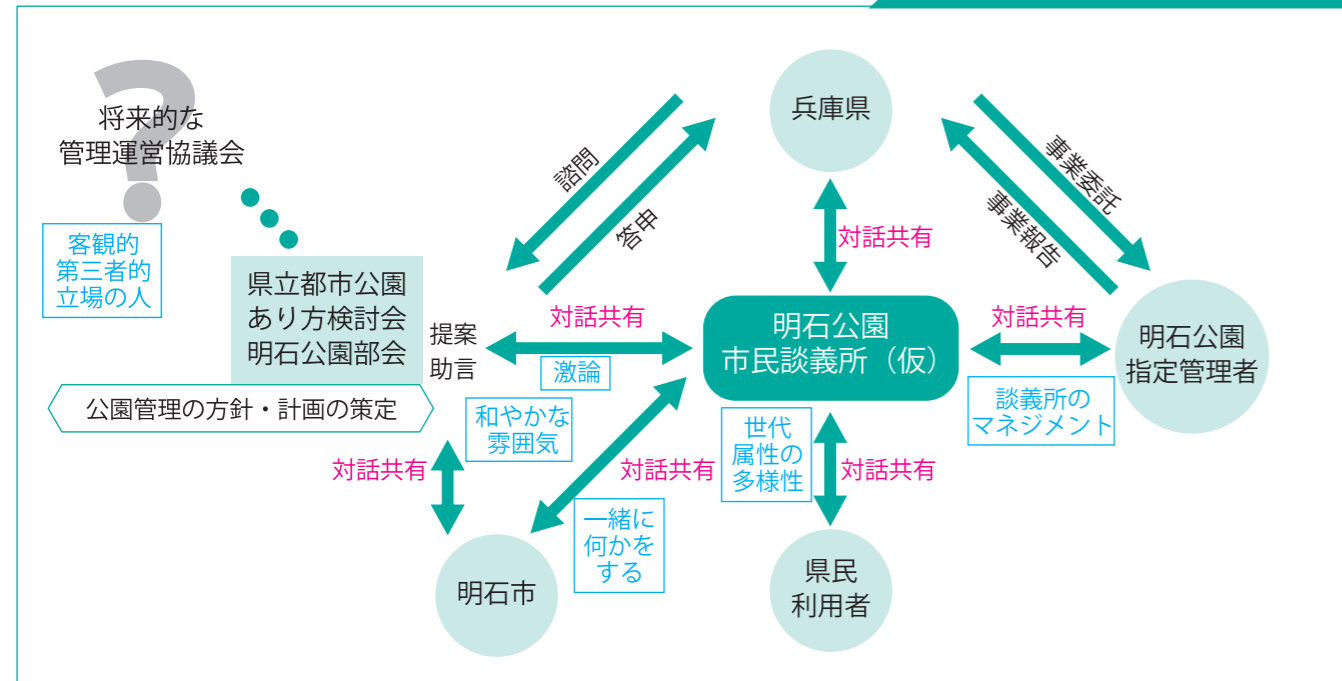
第3回目のワークショップでは、1回目、2回目での議論の内容をふまえて、以下のような明石公園の対話と協働のしくみをみんなで考えました。公園づくりの最も重要な土台となるのは「明石公園市民談義所（仮）」という開かれた対話の場です。「談義」は「大事なこと（義）を話し合う（談）」という意味です。

談義所では年に数回、明石公園のさまざまな活動をみんなが報告・共有する機会と、明石公園の管理運営や活用などについて提案する機会を設定します。また、談義所を通じて交流した人びとは、それぞれが連携・協働し、新たな活動を展開することもできます。いろんな人が談義し交わることで、明石公園に新たなムーブメントが次々と生まれていく、そんな創造的で動的な場を目指します。

今後検討しなければならないのは、「あり方検討会」が役目を終えた後に、調整や手続きが必要なことについて特定のメンバーで議論する「協議会（仮）」のような組織の必要性です。「協議会（仮）」を設置する場合、そのメンバーをどのように構成するのか、また談義所との関係をどのように位置付けるのかについて、十分な検討が必要です。

今回のワークショップで共有できたのは、誰もが自由に参加できる「談義所」での議論が、明石公園のあり方を考えていく上で必要不可欠な基盤となるということです。談義所での議論を記録し、公開することで、公園マネジメントの議論の経緯とその根拠に透明性を担保します。

対話のしくみイメージ図



ワークショップ参加者の感想

- いろいろな人の意見が聞けて楽しかった
- ワクワクするアイデアを実現していきたい
- もっと早くにこのような場があると良かった
- 第一歩としてはgood!
- 具体的な案件で議論する場をつくるべき
- 同じ方向を向いて話ができ有意義だった
- これからの公園づくりの勉強になった
- 大学生が自分の言葉で思いを伝えてくれて嬉しい
- 多様なバックボーンを持つ人が同じ思いで考えるのがよい
- 高校生の意見を取り上げてくれて楽しかった
- 明石公園はよい方向に向かっていくと思った
- 仕組みが分かって良かった

明石公園の インクルーシブな参加の場を考える ワークショップ レポート NO.1 2023年3月22日

発行：兵庫県立大学 自然・環境科学研究所 准教授 高田知紀
お問い合わせ先：takada@hitohaku.jp

ワークショップの目的

県立都市公園のあり方検討会・明石公園部会での議論を通して、明石公園の「インクルーシブな場」としてのあり方が重要なキーワードとしてあがりました。

このことを受けて、本ワークショップでは、「インクルーシブな参加の場」について検討します。ジェンダーや年齢、国籍、障がいの有無などに関係なく、多様な人びとが対話しながら、共感と納得をもとに、よりよい明石公園をつくっていくための「参加のしくみ」を一緒に考えることを目的とします。

参加呼びかけ対象者

ワークショップへの参加者は、「明石公園部会のヒアリング参加者」「明石公園で活動を行っている団体のメンバー」「兵庫県の関係部署の職員（公園緑地課、土木事務所）」「明石市の関係部署の職員」「明石公園の指定管理者」「明石公園部会の委員」のみなさんです。

結果概要

「明石公園のインクルーシブな参加の場を考えるワークショップ」での対話を通じて明らかになったのは、明石公園ではすでに、県民、事業者、学校、指定管理者、行政機関など多様な主体が、実に多様な活動を展開しているということです。また、本ワークショップの参加者は、さまざまな形で公園づくりに貢献したいという意志をもっています。

本ワークショップの大きな成果として確認できたことは、多様な関心をもつ人びとが常に対話し、それぞれの活動内容を共有するとともに、学び合い、公園の利用や管理、整備の方策を検討するための「場づくり」が必要であるということです。



第3回ワークショップの様子

日程と内容

- 第1回 2023年2月19日（日）14:00～17:00 <場所：明石公園サービスセンター2階会議室>
- 第2回 2023年3月2日（木）18:00～20:00 <場所：明石公園サービスセンター2階会議室>
- 【第1回・第2回の内容】
↓
明石公園にかかわる人びととその活動や関心、対話と協働のしくみについて
- 第3回 2023年3月18日（土）14:00～17:00 <場所：花と緑のまちづくりセンター研修室>
- 【第3回の内容】
2回のワークショップでの議論をふまえた今後の対話のしくみについて

2回のワークショップでは、同じテーマで意見交換しました

■2/19のご意見に■3/2は追加するご意見を考えました

■2/19のご意見に■3/2は追加するご意見を考えました

こんなひとの意見を大切に

- 自然に関わっている人
- 住民・県民
- 観光客
- 観光業のプロ
- 子どもから高齢者まで(多様な世代に)
- 自由な使い方をしたい人
- 公園利用者
 - 野鳥観察
 - 遊んでいる子ども
 - 放課後の高校生
 - NPO 活動している人
 - 陸上競技場利用
 - スポーツマン
 - 城好きな人
 - 歴史ファン
 - ホームから公園を見ている通勤客など
- 公園利用者
 - 弓道場利用者
 - どんぐり集めする人
 - 川で水をかけあう人
 - 楽器を演奏している人
 - カップル
 - ボート利用者
 - 野外ライブ
 - テニスプレイヤー
 - おはよう体操会
 - 隣接する公園で遊ぶ人
 - ランナー
 - アスリート
 - 社会人野球など
- 親切過ぎない公園で想像力を生む人
- 障がいがある人(障がいも多様)
- 若者(大学生やカップルなど)
- イベントを開催している人
- 親・先生(ベビーカーを利用している人など)
- 外国の方
- 文化財・遺跡関係者
- 子ども(水遊びしている子など)
- 公園の外の人(漁業関係者など)
- 利用者としてのいきもの(虫や植物の代弁者)
- 自然が好きで公園に来ている人
- 普段公園を利用しない人(引きこもっている人など)
- 専門家・団体

こんなふうに貢献したい

- 自然に関すること
 - 環境学習
 - 自然観察
 - 植物管理作業
 - 野鳥観察会
 - 自然発見手伝い
 - 子ども達と自然をつなぐ
 - 機械による草刈り
- イベント開催
 - プロ野球キャンプ
 - 歴史を伝える
 - 音楽を楽しむ
 - 新しい明石祭り
 - 映画誘致
 - 時のウィーク
 - 明石公園の自然を使った遊び
- 意見を出す
- 合意形成
- コーディネーター
- 調査研究
 - 樹木図鑑作成
 - 銘板付けイベント
 - 草花や樹木の研究
 - 自然学習キャンプ
 - 植物ラベル設置
 - 野鳥の経年的調査
 - プチ自然学校
 - 自然学習
 - コーディネート
- イベント開催
 - 楽しいイベント(開催や参加)
 - カートや自動運転
 - お花見
 - 竹炭づくり
 - 鎧やかぶと貸出
 - 地震発生を想定した避難訓練
 - バーベキュー
- 情報発信
 - Instagramによる発信
 - 積極的広報
 - 意見を発信できる場づくり
 - 公園図鑑作成
- 参加の場づくり
 - おもしろい公園の使い方を共有
 - よくなるために何ができるか考える
 - 普通の人々が参画できる場づくり
 - 普段使いのスポーツ施設のあり方検討
 - ONE HEALTH のアイデア
- 整備
 - トイレの壁面にトイレアート
 - 樹木の剪定
 - 除草
 - 緑化活動
 - 公園樹木の樹勢回復
 - 草刈りや公園手入れボランティア
 - 子どもの遊び場
 - 池の掃除
 - 公園の改善活動
 - カップルが訪れたいようなおしゃれな公園づくり

3/2

ワークショップの様子

2/19

ワークショップの様子

木曜日の夜に開催

参加者は一人ずつ簡単な自己紹介を行い、いろいろな人が参加していることを確認しました

日曜日のお昼に開催

